

お得意先各位

No.24-002
2024年1月吉日
コンビウィズ株式会社

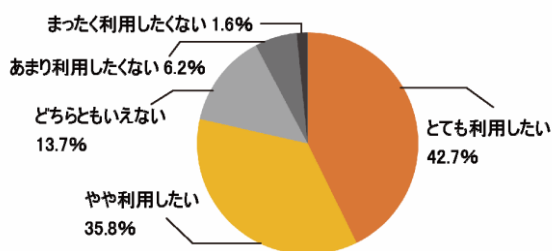
避難先に「赤ちゃん用簡易段ボールベッド」があったら使いたいと答えた方が約79% コンビウィズ、阪神淡路大震災から29年の神戸市へ赤ちゃん用段ボール製ベッドを寄贈

令和6年能登半島地震で被災された皆さまならびにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

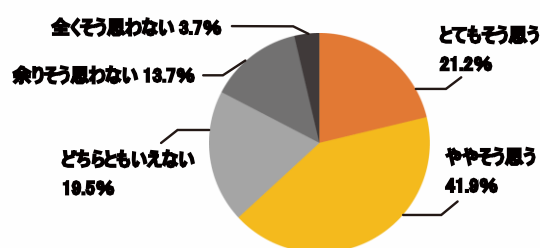
2023年12月に避難所に持参する防災に必要な赤ちゃん用グッズとして子育て世帯に意識されているアイテムの実態把握のために、0か月～2歳頃までのお子さまがいらっしゃる876名を対象に、災害時の赤ちゃんとの避難にまつわる「防災に関する意識調査（以下:本調査）」を実施しました。

本調査結果では、乳児向けのお世話グッズにおいて、紙おむつや着替え用の衣類、ミルクや離乳食等は、85%以上の方が避難所へ持参すると選択したの 비해、折りたたみ簡易ベッドなどの寝具を選択した人はわずか7.8%に留まりました。これは赤ちゃん連れでの避難を想定したとき、持参する膨大な荷物量から「寝具までを持参できない」と考えた現状がうかがえます。このような実態の中、本調査で乳児を寝かせられる「赤ちゃん用簡易ダンボールベッド」の存在自体を知っていたのは、全体のわずか約4%とまだ世間一般に認知されていない事実がわかりました。その一方で、避難先に「赤ちゃん用簡易段ボールベッド」があったら使いたいと約79%が回答、さらに約63%が避難場所にある(備蓄されている)とわかったら「避難するきっかけになると思う」と回答しました。

Q. 避難所に赤ちゃん用簡易段ボールベッドがあった場合、利用したいと思いますか。(N=876)

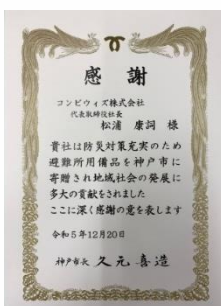


Q. 赤ちゃん用簡易段ボールベッドが避難所にあると分かったら避難しようと思うきっかけになりますか。(N=876)



そして1月17日で阪神淡路大震災から29年を迎える兵庫県神戸市へ赤ちゃん用防災備品ダンボール製簡易ベッド「ベビーにこっと」を2023年12月20日に寄贈しました。

29年前の震災当時に子どもだった方や震災未経験世代が子育てに携わる今、震災経験からの学びをいかして、すべての避難者が避難所で安心して過ごせる環境整備を目指す神戸市の考えに賛同し、今回の寄贈に至りました。



【寄贈内容詳細】

寄贈品名：Combi ひなん所用コット
HB11 ベビーにこっと(3個入)
寄贈数：102床
寄贈先：兵庫県神戸市
寄贈日：2023年12月20日

今回の調査結果でも明らかになったように、乳児連れの避難者の寝床への配慮を正しく理解し、公助で準備を行うきっかけになることを願って、コンビウィズでは今後も、赤ちゃん連れが避難しやすい環境整備のサポートができるよう、普及啓発活動に努めてまいります。

防災グッズ「ベビーにこっと」の詳しい情報はコチラ▶ https://www.combiwith.co.jp/biz/shelter_babycot.html

リリースに関するお問い合わせは、弊社営業担当またはマーケティング室までお願いいたします。
コンビウィズ(株) with.bcs@combi.co.jp TEL:03-5828-7631 FAX:03-5828-7630
本社/東日本・首都圏営業所/TEL.03-5828-7631 西日本営業所/TEL.06-6942-0384